

おおたの教育

第119号

大田区教育委員会広報

平成26年(2014年)
4月1日発行

今号の主な内容

- 1面 委員長所信表明
- 2面 平成26年度教育予算のあらまし
- 3面 平成25年度教育実践功労者表彰
- 4面 第2回小学生駅伝大会

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL.03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

平成26年教育委員会委員長所信表明より

意欲を育み意欲を支える教育行政を推進します

～ 平成26年度からの5か年計画を策定します ～



教育委員長
鈴木 清子

2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催は、スポーツ健康都市宣言に込められた理念である「健康」、「地域力」、「国際化」を一段と押し進める絶好の機会となります。区は、これまで、総合体育館を中心に、各種競技の全国大会や国際試合を開催し、トップレベルのスポーツに触れ合う機会を区民の皆様に提供しながらスポーツの素晴らしさをPRしてまいりました。オリンピック・パラリンピック東京開催を契機に、区民の皆様のご協力をいただきながら、オリンピックムーブメントを展開することで、区内のスポーツがより活性化することをめざしてまいります。

国際的なスポーツの祭典を生で体験できることは、特に子どもたちにとって貴重な経験です。オリンピック・パラリンピック開催を契機に、国際交流は一段と活発になります。この機会に、国際理解教育をより推進するなど、諸外国の人々と交流できる「力」を育てていくことが必要です。「国際都市おおた」を担う人材を育てる教育をより一層推進してまいります。

この5年間、大田区の教育施策の指針でもある「おおた教育振興プラン」に基づき教育行政に取り組んできた結果、児童・生徒の基礎学力の定着など、確かな成果を上げることができたと感じております。

現在、教育委員会では、平成26年度からの新たな5か年計画を策定すべく、作業を進めております。新プランでは、6つのアクションプランに加え、教育施策を推進する土台として、「『知』、「徳』、「体』のバランスのとれた『生きる力』を育成する。」、「『意欲あふれる学びの場や学びの機会をつくる。」、「『未来の可能性を伸ばしていけるように一人ひとりに向き合う。』、「『地域力を育み、地域と連携・協働する。』」の4つの基本的な視

点を新たに設定し、各事業を効果的・実践的に展開してまいります。

また、現プラン同様、重点的に進める教育施策の方向性として、6つのアクションプランを設定します。

- 児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させる「学力向上アクションプラン」
- 子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育む「豊かな心を育むアクションプラン」
- 子どもたちの身体活動量を高め、意欲や気力のもととなる総合的な体力を育む「体力向上アクションプラン」
- 教員の指導力の向上はもとより、施設の整備や講師・支援員の配置など、学校サポート体制の充実に取り組む「教育環境向上アクションプラン」
- 学校・家庭・地域が果たすべき役割や責任を明らかにするとともに、相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる「家庭・地域の教育力向上アクションプラン」
- 区民一人ひとりがスポーツ・文化活動を含む生涯学習を進んで実践するとともに、地域力を高め、次の世代を育成するため、学びあいによる地域づくりを進める「地域力育成アクションプラン」

以上の取組により、大田区教育委員会教育目標の実現に向け、各種施策を着実に遂行してまいります。

学校、家庭、地域、行政の協力関係が、これまで以上に深まり、それぞれの役割のもと、その力を十分に発揮していただき、大田区の子どもたちの充実した未来を育むことにつながることを大いに期待しています。

教育行政におきましては、国における教育委員会制度の改正の検討など、大きな変革がなされるようとしております。

いずれにいたしましても、大田区の教育行政を



▲議場における委員長所信表明

担う教育委員会としましては、子どもたちをはじめ多くの区民の意欲を育み、意欲を支え、そして、豊かな人間性を育むことができる教育をめざして、これからも全力で取り組んでまいります。

ご意見を募集します

(仮称)おおた教育振興プラン(素案)パブリックコメント

【閲覧・募集期間】 平成26年4月16日(水)～5月8日(木)

【閲覧場所】 問合先、区政情報コーナー、特別出張所、図書館、大田文化の森(情報館)

【対象者】 区内在住、在勤、在学、その他計画に利害関係を有する方

【意見の提出方法】 問合先への郵送・ファクシミリ・Eメール・持参

- ◆区民説明会◆
- 日時 4月16日(水)午後6時30分～8時30分
- 会場 区役所本庁舎2階
- 定員 先着100名程度
- 申込方法 当日会場へ
- その他 保育か手話通訳を希望する方は4月8日(火)までに問合先へ電話かファクシミリ

【問合先】 教育総務課経営計画担当
TEL 5744-1423 FAX 5744-1535



教育長就任所感

「一人ひとりに寄り添う教育を」

教育長 津村 正純

平成25年12月24日付けで教育長に就任しました津村です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、教育という分野は、区民の皆さんにとって、自ら子ども時代に学んだ経験、保護者として子どもの教育に携わった経験、成人して生涯学習に打ち込んだ経験などから、とても関心の高い分野だと理解しています。一方で、社会経済環境、生活環境の変化などに伴って、様々な問題・課題が提起されている分野でもあります。

学校教育については、知識基盤社会への移行やグローバル化に伴って、それにふさわしい学力の

形成をはじめとした「自ら考え行動し、他者と協働しつつ、新たな価値を生み出す『生きる力』の育成」が挙げられます。悩みや不安、不登校、いじめなどの問題に対しては、一人ひとりに寄り添い、親身に対応していく必要があります。また、障害をお持ちのお子さんに対しても、障害の程度・内容に応じた適切な支援が必要です。このような様々な課題への対応の原点は、「次代を担う、かけがえのない子どもたちを一人ひとり大切に育てていく」ということに尽きると思っています。そのために、子どもたちの「知・徳・体」のバラ

ンスのとれた育成、教育研究推進校の取組や様々な研究・研修を通じた教員のスキルアップなどを図っていきたく考えています。併せて家庭の教育力向上、地域力による子どもの育ちの支援など、学校・家庭・地域の連携も不可欠です。現行のおおた教育振興プランを踏まえ、新たに策定するプランにおいて、これらを計画事業として掲げ、意欲的かつ計画的に推進していきたく考えています。

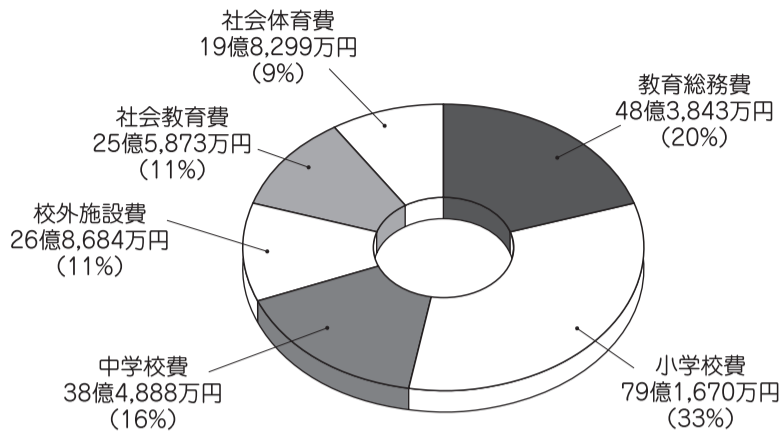
また生涯学習の分野においても、産業構造の変化や人々の自己実現欲求の高まりなどから、区民の皆さんの学習やスポーツへの関心・意欲には瞠目すべきものがあります。区民の皆さんに学習などの機会を提供し、またその成果を学校や地域に還元していただく流れを作っていく必要があると考えています。

地域や保護者の皆様のご支援をいただきながら、さらに大田の教育の発展に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【問合先】 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

平成26年度 教育予算のあらまし

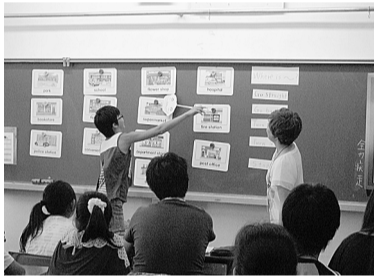
平成26年度教育予算額 238億3,257万円



平成26年度の教育関係の予算は、前年比14.5%増の238億3,257万円です。一般会計予算に占める割合は、前年度より0.8%増の9.8%となりました。

教育委員会では、「おおた未来プラン10年」や「おおた教育振興プラン」「スポーツいきいきプランおおた」に基づき、区の教育目標を実現するため、本年度も施策・事業に着実に取り組んでいきます。

～学校教育の充実～



★基礎学力の定着 1億1,072万円
学習指導講師の配置による補習、少人数指導による習熟度別学習を行い、児童・生徒の学力定着・向上を図ります。

★国際理解教育の推進 6,883万円
外国語教育指導員の派遣について、小学校への派遣時数を増やします。また、授業とは別に、外国語教育指導員と英語のみでコミュニケーションを図る場「英語カフェ」を設定し、国際社会に貢献し、世界の人々から信頼され、尊重される子どもたちを育てます。

★体力向上の推進 239万円

体力向上の取組の成果を発表する場として実施している小学生駅伝大会を本年度より全校参加とします。

「体力向上モデル校」を指定し、体育・健康教育の授業公開や体力調査結果に基づく体力向上の取組について研究発表等を行います。また、保護者や地域の方を対象に体力向上の重要性や必要性等をテーマにした講演会を実施します。

★スクールソーシャルワーカーの雇用 807万円

スクールソーシャルワーカーの雇用により、「いじめ」「不登校」等生活指導上の課題について、児童・生徒が置かれた様々な環境に働きかけ、関係機関とのネットワークを構築し、児童・生徒、保護者及び教員に対する支援や相談体制を整備します。

○食物アレルギー対応の食器およびトレイの購入 542万円

食物アレルギーの児童・生徒に提供するアレルギー除去食を明確に識別できるよう、専用の食器及びトレイを導入することで、配膳ミスを防ぎ、安全安心な給食の提供をさらに徹底します。

★適応指導教室「つばさ」大森教室の新設 2,116万円

適応指導教室「つばさ」は、不登校状態となっている児童・生徒が家で引きこもりにならないよう、生活習慣を身につけ、学習意欲を維持・向上し、自己肯定感を高め、早期の在籍校復帰が可能となるよう支援することを目的とした施設です。本年度大森地区に新設します。

★学校支援地域本部の充実 4,180万円

平成25年度中に全ての区立小・中学校に学校支援地域本部が設置されました。本年度は学校支援コーディネーター研修等の充実を図り、「学校・家庭・地域」が一体となった学校教育活動の支援を行います。

～社会教育・スポーツの推進～

★生涯学習リーダー等の育成・支援 95万円

区民の「学びあい」や「結びつき」を基盤とする生涯学習を推進するための人材育成や支援を行うとともに、区内で活動する団体の学習成果を活かした区民向け講座を開催します。

★家庭・地域の教育力向上支援のために 277万円

小学校新1年生の保護者が抱える子の成長や学校生活等への不安を軽減するため、「親の学びの場」として学習会を開催します。また、家庭や地域の教育力向上を目的に、保護者や地域の大人に向けて子育てや教育に関する学習会等を開催する区内団体を支援します。

★「おおたスポーツ健康フェスタ」の開催 454万円

スポーツ健康都市宣言記念事業として、平成26年7月5日(土)に大田区総合体育館で開催します。誰もが気軽に参加できる健康づくり・スポーツ活動のイベントとして、区民の健康や体力向上への関心を高めます。

★利用者用インターネットパソコンの増設 711万円

現在、区立図書館5館に導入している利用者用のインターネットパソコンを、全館に導入します。

★鳳凰閣(旧清明文庫)―(仮称)勝海舟記念館の整備等 1,404万円

国登録有形文化財建造物である鳳凰閣(旧清明文庫)について、文化財施設を有効活用するために、施設整備に関する基本構想及び基本計画を策定します。



○特別展「あの頃、馬込は笑いに充ちていた―馬込文士村」(仮題)の開催 462万円

大田区立郷土博物館所蔵の「馬込文士村コレクション」を展示し、大森地域の文化資産である馬込文士村関係資料を広く総合的に区民に紹介します。話題の村岡花子をはじめ、文士たちを再発見する機会とします。

～教育施設の整備～

★計画的な小中学校校舎改築

施設の老朽化等に対応するため、計画的な小中学校校舎の改築・改修を進めています。

(1)嶺町小学校の改築 7億7,977万円

本年度は、体育館棟建設工事(Ⅱ期工事)、外構工事を行います。体育館棟は平成27年3月しゅん工予定です。

(2)東六郷小学校の改築 7,359万円

本年度は、仮設体育館建設と既存体育館の解体を行います。

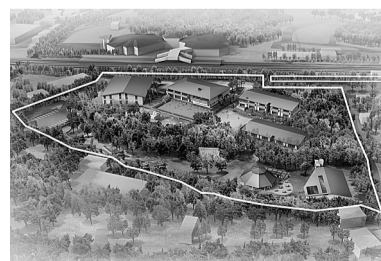
(3)志茂田小学校・志茂田中学校の改築 5億1,521万円

隣接した小・中学校を一体的に改築することにより、教育環境を充実するとともに経費の削減を図ります。本年度は実施設計を行い、志茂田小学校の既存校舎の一部解体及び志茂田中学校の既存校舎の解体を行います。

(4)大森第四小学校の改築 3,918万円

本年度は、基本構想及び基本計画の策定を行います。

○伊豆高原学園の改築 24億7,869万円



平成27年4月のオープンを目指し、PFI事業方式による改築を進めています。改築にあたっては教育施設としての充実を図るとともに、学校が利用しない金・土・日曜、夏休み期間、年末年始、12月から4月中旬までは、新たに区民も利用できる宿泊施設として活用します。

平成25年度大田区教育委員会

「教育実践功労者」表彰

～受賞者の紹介～

教育委員会では、区の教育の発展に貢献しその功績が顕著で優れた教育実践を行った教員を、「教育実践功労者」としてその功績をたたえ毎年表彰しており、平成25年度は、8名の方が受賞されました。

今後も大田区の教育のためにご尽力いただき、子どもたちの健やかな成長を支えていただきたいと思います。

受賞者のコメント(上段)・表彰理由(下段)を紹介します。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535



●受賞者の方々●
左から：大山主幹教諭、佐藤主任教諭、大字主幹教諭、濱川主幹教諭、三浦主幹教諭、白神主幹教諭
上方左から：右近主任教諭、米岡主幹教諭

白神 保 主幹教諭

(調布大塚小学校 全科)

学習におけるICT活用に力を入れ、研究発表会ではその成果を区内の先生方にご覧頂きました。今後も教育の情報化に向けて努力していきたいと思

専門的な知識と豊富な経験を活かしたICT教育の推進に努めると共に、情報教育研修の講師として、区内教員の授業研究意欲の活性化や資質向上に大きく寄与した。また、地域との連携・協力体制の構築に尽力し、読書活動の充実

三浦 一輝 主幹教諭

(東調布第三小学校 全科)

目の前の子供たちのために。これから出会う子供たちのために。私たちは、日々教育技術を磨いています。そんな本校の教職員の情熱が評価されたことを嬉しく思います。

平成24年度、平成25年度における教育研究推進校の研究推進委員長として、先頭に立ち作り上げた研究をまとめ、約400人の参加者を集めた研究発表会で高い評価を得られたことは、本主幹教諭の功績によるところが大きい。率先して授業研究に尽力し、全ての教員の研究意欲の向上に多大に貢献した。

右近 史子 主任教諭

(糀谷小学校 音楽)

子供たちの笑顔や一生懸命な姿を見たくて、「教師」という職業を続けてきたように思います。ところが今は、子供たちに元気をもらっている私がい

児童の意欲を引き出し、音楽を楽しみ、表現させる授業に尽力し、その優れた指導力をもって大田区における音楽教育の推進に大きく寄与した。児童の作詞作曲による周年歌「まほうの言葉」を披露し、いつまでも児童の心に残る音楽づくりを実践し、保護者コーラスの指導も続け地域への貢献も大きい。

濱川 一彦 主幹教諭

(大森第二中学校 技術)

この度は平成25年度教育実践功労者表彰をいただくことができ光栄です。ものづくりは大田区・日本に必要な分野です。今後も「ものづくりは人づくり」を実践していきます。

「ものづくり」を通じた創造性やプレゼンテーション能力の向上に尽力し、何事にも意欲的に取り組むことができる生徒の健全育成に大きく寄与した。「木工チャレンジコンテスト」への積極的参加を指導し全国大会に出場するなど優れた結果を残し生徒の育成に多大に貢献した。

大字 恵美子 主幹教諭

(大森第六中学校 国語)

校長先生を始め教職員、地域の方に支えられて取り組んでまいりました。「安全で安心して過ごせる学校」を目指してこれからも努力していきます。ありがとうございました。

中学校3年間を見通した「防災教育」を推進した。生活指導主任として、校内生活の規則の見直しを図り徹底を図った。PTA安全委員会及び地域と連携し、生徒の健全育成に取り組んだ。小中一貫教育生活指導分科会では、「授業規律」を中心に据えて小学校と生活指導スタンダードを作成した。

大山 茂登 主幹教諭

(蒲田中学校 理科)

このような名誉ある賞をいただけたのは、日頃から一致団結して教育活動に取り組んでいる本校教職員と、学校を支えてくださる地域の方々のおかげと感謝しています。ありがとうございました。

生活指導主任として、全教員に課題とその解決の方向性を示すなど、組織的な生活指導体制づくりに尽力した。全校生徒が体験的・実践的な活動ができるよう、地域の方を講師として招聘するなど、積極的にコーディネーター的な役割を果たし、地域の教育力の活用による生徒の健全育成の推進に多大な貢献をした。

佐藤 真理子 主任教諭

(南六郷中学校 美術)

生徒と過ごす毎日は、気づき、考え、行動し、反省の連続です。今後も、美術の授業を通して、生徒の豊かな感性や心を育てていきたいと思

生徒の美術的な創造性、美意識、創作意欲の育成に長年にわたり尽力した。生徒の創作の成果を賞賛する指導の実践は、生徒の学習に対する意欲の育成のみならず、校内の雰囲気明るく活動的にさせ、教育現場の生活環境改善に大きく寄与した。

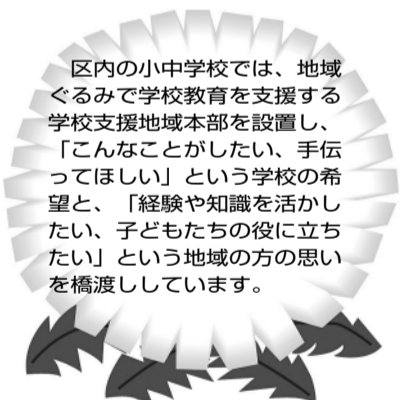
米岡 恵子 主幹教諭

(羽田中学校 英語)

いつもご指導、ご協力いただいている方々に改めて感謝するとともに、これからも自分がやるべきことを探して、努力していきたいと思

情熱と愛情溢れる生活指導や基礎学力の定着に向けた授業改善・研究に尽力し、他の教員の模範となる教育活動を実践した。また、吹奏楽を通じた国際交流や行事参加による地域社会への貢献を果たすなど、生徒の健全育成に大きく寄与した。

学校支援地域本部 地域は学校の応援団



区内の小中学校では、地域ぐるみで学校教育を支援する学校支援地域本部を設置し、「こんなことがしたい、手伝ってほしい」という学校の希望と、「経験や知識を活かしたい、子どもたちの役に立ちたい」という地域の方の思いを橋渡ししています。

学校支援地域本部で支援する活動は…

これまで、保護者や地域の方々のご協力により「図書

の読み聞かせ」「夏のわくわくスクール」など、さまざまな支援が行われています。このような、学校の教育活動や学校運営を「学校支援ボランティア」がサポートします。

学校により、必要とする活動内容、人材は異なりますが、次のような支援が考えられます。

- 学習支援 土曜日学習教室、ゲストティーチャー、部活動指導
体験支援 職場体験、ワークショップ、伝統・文化教室、学校行事の支援
環境支援 図書室の管理運営、花壇・芝生の管理、ピクトープ、登下校の安全確保など

★各学校での取組の例★



矢口小学校

英語教室で地域の皆さん・保護者がハロウィンなどを通して子どもたちが楽しく英語を覚えられるように、先生のお手伝いをしています。

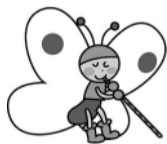


赤松小学校

夏休みわくわくスクール(地域を活かした洗足池での水棲生物調査講座の一コマです)

学校支援コーディネーター

学校支援地域本部には、学校と地域の方を橋渡しする学校支援コーディネーターの方が各校に設置されています。学校からの依頼を受けて、学校支援ボランティアなどとの連絡調整を行い、ニーズにあう人材をコーディネートします。



教育委員会では、学校支援地域本部の活動をサポートする目的としてコーディネーター育成研修の実施や実施成果発表会やグループ討議を通じてネットワークづくりの機会提供を行っております

★学校支援コーディネーター育成講座を実施しました！

- ① 日時 平成26年1月30日(木)午後1時30分～4時30分
テーマ 大田区の子どもの実態と学校の教育課程について
② 日時 平成26年2月6日(木)午後1時30分～4時30分
テーマ より魅力的な授業への支援をするためのコーディネーター力
③ 日時 平成26年2月20日(木)午後1時30分～4時30分
テーマ 地域資源活用のためのネットワークづくり
※各テーマ終了後「ふりかえりワークショップ」実施。

参加者 延べ76人

★各学校支援地域本部間のネットワークづくりも進んでいます。

学校支援コーディネーター育成講座より▶



★実施成果発表会及び意見交換会を実施しました！

日時 平成25年6月27日(木)午後1時30分～4時

発表校 フレンドリー矢口(矢口小学校)、大森第六中学校支援地域本部(大森第六中学校)、スクールサポートくがはら(久原小学校)

内容 大森・調布地区小学校、蒲田・糀谷・羽田地区小学校、中学校の3グループで討議、事例への質疑応答、参加者一人ひとりの現状報告、意見交換を行いました。

参加者 83人

小学生駅伝大会で、大田っ子たちが頑張りました！

平成25年12月26日(木)に第2回小学生駅伝大会が開催されました。昨年度、第1回大会を開催し、今年は、新たに六郷土手駅近くの多摩川緑地にコースを設定しました。30校の小学校から5・6年生の男女12名でチームを編成し、補員も含めて約480名の児童が参加して、襷をつないで走りました。当日は、会場には、学校関係者・保護者・地域等、多くの方々が集まり、声援を送っていただきました。また、矢口中学校の陸上部員にも運営の御協力いただくとともに、先輩からのメッセージを伝えていました。

第5回中学生「東京駅伝」大会は、2月9日(日)に、開催される予定でしたが、大雪のため中止となりました。区内中学校から選抜された中学2年生42名の代表選手達は、専門的な指導力を有し、熱意あふれるスタッフの先生方の御指導のもと、9回に渡り練習を重ねてきました。代表選手としての自覚も高く、回を重ねる毎にチームワークが高まり、記録が伸び、当日の健闘が期待されていました。試走会や結団式・解団式には、学校関係者、保護者、区立中学校PTA連合協議会等、多くの方々が御参加くださり、選手を励ましていただきました。選手達には、大会に向けて共に練習に取り組んだ経験を生かして、これからの中学校生活を豊かなものにしていただきたいと思います。



小学生駅伝スタートの様子

中学生「東京駅伝」選抜チーム



問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

大田区総合体育館で開催される 主な試合や大会のご案内

社会教育課が主管する大田区総合体育館は、「するスポーツ」、「みるスポーツ」を基本コンセプトに運営を行っています。

区内の身近な会場で各競技のトップアスリートが繰り広げる試合の観戦をお楽しみください。(観戦は、有料になります。)

※予定が変更される場合がありますので、各問合せ先にてご確認ください。

大田区総合体育館に関する問合せ 社会教育課管理係
TEL 5744-1448

〈第25回世界エアロビック選手権大会〉 —F I Gワールドカップシリーズ東京国際—

日時	内容
4月12日(土) 4月13日(日)	世界各国の代表選手が参加する歴史あるエアロビックの国際大会

問合せ 日本エアロビック連盟
TEL 03-5796-7521

NBLナショナル・バスケットボール・リーグ(男子バスケットボールリーグ)

日時	内容
4月26日(土) 4月27日(日)	日立サンロッカーズ東京 vs レバンガ北海道

問合せ 日立サンロッカーズ東京事務局
TEL 03-5467-8933

日時	内容
5月3日(土・祝) ~ 5月5日(月・祝)	NBL2013-2014プレーオフ イースタンカンファレンスセミファイナル

問合せ 日本バスケットボールリーグ
TEL 03-3779-5545

給食費や学用品購入費の一部を援助します (就学援助)

対象

小・中学生のお子さんの保護者で、大田区にお住まいの方のうち、下記のいずれかに該当する方。

- ①生活保護を受けている(要保護認定者)
- ②同一生計を営む世帯全員の平成25年中の合計所得が認定基準所得に満たない(準要保護認定者)

《認定基準所得の目安》

世帯人数	2人	3人	4人	5人
認定基準所得	277万円	345万円	378万円	465万円

※あくまでも目安です。家族の年齢構成等によって異なります。

援助内容

- ・認定された場合は、下表の内容が受けられます。ただし、認定区分・学年及び申請月によって費目や支給額は異なります。
- ・要保護認定者(生活保護受給者)については、網掛け部分は生活保護費から支給されるため就学援助での支給はありません。
- ・就学援助は、認定された方に就学援助費を支給するものであり、給食費や教材費等の学校納付金が免除されるものではありません。

○給食費(国立・都立・私立学校は除く)	○学用品費
○新入学用品費(4月申請者のみ)	○体育実技費(購入者のみ)
○通学費(特別支援学級(固定)通学者のみ)	
○校外授業費	○移動教室参加費(参加者のみ)
○修学旅行参加費(参加者のみ)	○クラブ活動費(小学校4~6年生のみ)
○卒業アルバム費(購入者のみ)	○医療費(対象疾病のみ)

申請方法

4月上旬に学校から配布する「平成26年度就学援助受給希望調査書(申請書)」を期日までに学校へ提出してください。なお、大田区以外の区市町村立及び国立・都立・私立小中学校に通っている場合は、下記までお問い合わせください。

問合せ 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

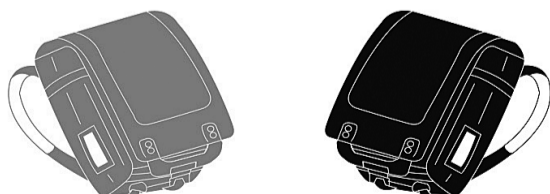
教育委員会の主な議題

- 平成26年第1回定例会
- 平成25年度 第六次補正予算要求原案について ほか3件
- 平成26年第2回定例会
- 大田区立千鳥小学校指定校変更申請不許可に係る異議申立てに対する決定について ほか1件
- 平成26年第1回臨時会
- 大田区立入新井第二小学校指定校変更不許可決定に係る異議申立てに対する決定について ほか1件

教育委員会定例会の開催予定日

- 日付 平成26年4月23日(水)
平成26年5月28日(水)
平成26年6月25日(水)
- 時間 午後2時から(4月23日のみ午後3時から)
- 場所 本庁舎6階教育委員会室
- ※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

問合せ 教育総務課庶務係
TEL 5744-1422 FAX 5744-1536



おおたの教育第118号の訂正とお詫び

おおたの教育第118号(平成26年1月1日発行)の第4面の表彰コーナーに誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

- (誤) 矢口小学校
- (正) 矢口東小学校